

栗山町地域公共交通活性化協議会

平成20年3月 6日設置
平成21年3月13日連携計画策定



概要

栗山町は、過疎化や少子高齢化の進展により公共交通利用者は減少傾向にあり、民間路線バス撤退後に導入した町営バスの経営も悪化し、抜本的な改善が必要となっていることから、町営バス路線・ダイヤの見直し、スクールバスとの協調、デマンドバス・コミュニティバスの導入やバスによる農産物等の少量荷物輸送等により、地域住民の交通に対する利便性の向上と地域社会の活性化に寄与できる交通システムの構築を図る。

○町営バス路線・ダイヤの見直し(21年10月～)

・バス事業の運営効率化により地域住民の交通を維持するため、21年10月のダイヤ改正に合わせて、町営バス6路線すべての路線とダイヤを全面的に見直し、実証実験を行う。

○スクールバスとの協調(21年10月～)

・地域住民の交通確保のため、スクールバス運行区間においては、スクールバス利用児童生徒数に留意の上、21年10月の路線バスダイヤ改正に合わせて、一般客混乗の実証実験を行う。

○デマンドバス・コミュニティバスの導入(21年10月～)

・地域住民、特にシルバー層等の交通弱者の利便性向上のため、21年10月の路線バスダイヤ改正に合わせて、郊外地である町南部地域において、デマンドバスの実証実験を行う。
・市街地におけるバス利用の利便性をより高めるため、21年10月のダイヤ改正に合わせて、病院や商店街等にバス停を設置し、コミュニティバスの実証実験を行う。

○少量荷物輸送(22年度～)

・町の基幹産業である農業は従事者の高齢化が進み、農産物の出荷に負担がかかっていることから、出荷の支援等を目的に農協や商店街等の協力を得ながらバスによる輸送を行う。

